

2023年12月15日

「我が国のグリーントランスフォーメーション実現に向けて」に対する意見

日本労働組合総連合会
芳野友子

今回は総括的議論であることを踏まえ、我が国のGX実現、戦略分野国内生産促進税制(案)、中小企業のGXおよびアジア展開に関して4点申し上げたい。

1. 我が国のGX実現に向けた対応について

GXの実現には良質な雇用の創出と公正な移行の実現が不可欠であることが強く言及されたことを大いに評価する。今後より一層GX実行が加速していく中で、公正な移行を実現していくには、省庁横断的な体制による課題の深掘りと国・地域・産業の各レベルで、政労使が加わる社会対話の場を設置し、複数のシナリオの元で政策課題を議論していくことが必要である。こうしたプロセスをロードマップに落とし込み、必要な予算措置についても検討いただきたい。

2. 戦略分野国内生産促進税制(案)について

生産段階でのコストが大きいものに対して税額控除が適用されるとあるが、生産段階のコストはサプライチェーンの各段階でも負担している。企業への税額控除措置は、サプライチェーン全体で生み出した付加価値が適正に分配される仕組みなどと合わせて検討いただきたい。

3. 中小企業のGXについて

中小企業のGX実現に向けて、本日示された技術シーズの活用や省エネ対応へのきめ細やかな相談体制を活用するには、専門人材の確保と育成が重要である。あわせて、失業なき労働移動を実現していくには、多様な働き方に中立な社会保障制度、学び直しに必要な生活保障など重層的なセーフティネットの構築や、中小・零細事業者への雇用への影響を適切に評価し、サプライチェーンだけでなく、国・地域レベルでの目配せと強力な支援をお願いしたい。

4. アジア展開について

岸田総理はCOP28において産業の脱炭素化とアジアの脱炭素化に挑戦すると表明された。その課程では、アジアにおいても公正な移行の実現が不可欠であり、良質な雇用が生み出され、ディーセントワークが実現されなければならない。そのために、連合は引き続きITUCと連携して取り組んでいくが、日本政府においてもリーダーシップが発揮されることを強く期待する。

最後に、GX実行の成功の鍵は、「サステナブルな経済社会の実現が、人々の幸福につながる」といったカーボンニュートラルが実現した社会像を国民が共有し、そこに向けて一人一人が行動することである。新しい国民運動である「デコ活」をはじめ、多くの国民と理念を共有し、丁寧な対話を続けていきたい。

以上